

⑥ 地域の絆を深める「おさいど」

1月中旬、町内各地で「おさいど」が行われました。おさいどは、古くから行われている行事で、山から切り出した木に藁を結びつけたものを、雪を掘って立て、お正月のしめ飾りや古くなったお札、書き初めなどと一緒に焚き上げます。焚き上げの際、火が高く燃えると字が上達する、残り火で焼いた餅を食べれば虫歯にならないといった言い伝えがあります。

春木地区では、1月12日(日)、春木地区公民館前でおさいどが行われました。朝から町内会で協力して準備をし、2本のおさいどを立てました。夜には集まった地区の人たちと一緒に、温かい飲み物で温まりながらおさいどの火を眺めました。

平岡下地区では、1月15日(水)におさいどが行われました。地区の有志の方々が準備をし、今年は3本のおさいどが夜空を彩りました。月明かりが会場を照らしたす幻想的な雰囲気の中で行われ、残り火で焼いた餅をみんなで食べながら、地区の絆を深めました。



春木地区のおさいど



平岡下地区のおさいど



⑦ 梅里苑新春大抽選會

1月1日(水)、梅里苑で毎年恒例の新春大抽選会がおこなわれました。今年は新たな試みとして「梅公園の梅入り・つや姫おにぎり」100個を景品に追加し、大変好評でした。1等の梅里苑ペア宿泊券は、仙台市在住の佐々木香奈さんが見事当選しました。

善意をありがとう

～平成25年度真室川町歳末たすけあい運動～（敬称略）

松田新聞店・もがみ北部商工会・阿部農機店・真室川ナツメロ会・ライオンズクラブ・連合婦人会
食生活改善推進協議会・遺族会・身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・老人クラブ連合会
民生委員児童委員協議会・マルコウ環境

募金総額 936,950円

みなさまより多くのご支援をいただきました。この募金は、支援を必要とする15世帯にお渡ししました。

新年にあたり

新年が明けて今年もまた昨年、続いて大雪になるのではと、心配したのは私だけではないと思う。今年も降れば4年連続となる。力ムシが少なかった、夏場大雨だったのでもない、ではないかと言われるが、小寒から気温の下がり、雪が降ってきたので、除雪部隊がどうも活躍しそうな感になってきた。

1月4日、ゆめりあの「新春餅つきとお楽しみ会」に参加して掲ぎ立ての餅をこちそうになる。2斗の餅を2回に分けて掲いで来場者に振る舞われた。子供たちが初めてであろう杵をもつて一生懸命餅をつく勇姿をご両親が目凝らして写真に収めていた。

お楽しみ会では、町の音頭保存会の皆さんが艶やかな着物姿で真室川音頭等を披露し、会場を賑やかに盛り上げてくれた。

年明け早々、練習もままならない中で、住民だけでなく、帰省していく皆さんからも大変喜んで貰えたのではないかと感じた。

機械ではできない弾力が違う暖かい餅を食べ、心が和む歌と踊りを楽しむことができた素晴らしい一時であった。

真室川町長 井上 薫



① 善意の気持ちは国境を越えて

真室川中学校（校長：三上準一）では、台風で大きな被害を受けたフィリピンのレイテ島にあるカリガラ地区の中学校に義援金を送りました。この取り組みは、フィリピンの現状を知った生徒たちが、被災された方を助けたい、心のキズを少しでも癒したいという思いから始まったものです。1月に入り義援金を贈った中学校から、お礼の手紙と絵葉書が届き、1月10日（金）、体育館で報告会が行われました。

ＪＲＣ委員長の佐藤麗王さん（大向）は、「厳しい状況の中で、お礼の手紙を送ってくれたことがとてもうれしい」と話してくれました。

② 新年おめでとう会

1月9日(木)、安楽城保育所(所長:佐藤由美子)で、新年おめでとう会が行われました。七福神に扮した先生たちが会場に登場すると園児たちは大喜び。福笑いやこま回し、羽子板など伝統的な正月遊びをみんなで楽しみました。昼食には、赤飯や伊達巻などのお正月料理がお膳にのって登場し、園児たちは日本の伝統的なお正月を満喫しました。

③ おはなしの世界へようこそ

12月15日(日)、中央公民館でおはなし広場クリスマス会が開催。親子など約50人が、絵本の読み聞かせや劇などを楽しみました。

町内の読み聞かせボランティアによる工夫を凝らした演出に、参加者は目を輝かせて聞き入ったり一緒に歌ったりしました。

サンタさんに扮したボランティアからプレゼントを貰った子どもたちは、とても嬉しそうでした。

④ 「まざれや」でしめ飾り作り体験

12月26日(木)、差首鍋地区生涯学習センターでしめ飾り作りが行われました。様々な年代の方が交流を図りながら、お正月のしめ飾りの作り方と伝統的なわら編みの技術を学びました。

初めてわらを編む方は苦戦していましたが、講師や経験者から教わりながら楽しく作っていました。自慢の作品が完成し、参加者はとても嬉しそうに見せ合っていました。

⑤ 子育て講演会

12月12日(木)、釜淵保育所(所長：沓澤恵子)で子育て講演会が開催されました。「子どものちょっと気になること」を題材に県家庭教育アドバイザーを務める佐藤成美さんが、参加された皆さんの話を聞きながら、優しく丁寧に応答してくださいました。子育てに関する様々な悩みが共有され、子育ての明日につながる素晴らしい機会となりました。